

# 「財政危機宣言」の解除について



三木市 Miki City

# 「財政危機宣言」を解除

～財政危機を脱し、まちの発展をめざします～

景気の低迷、人口減少、地価の下落などによる税収入の減少や市民病院の急激な経営悪化による市会計からの支援額の増加などの結果、平成19年度には支出が収入を大きく上回り、多額の基金をもって補填しなければならない状態となりました。

その状態が続けば5年先には三木市が財政破たんするかもしれないという見通しとなったことから、平成20年9月に本市始まって以来初となる「財政危機宣言」を発しました。それ以降、市民病院の経営改革に全力で取り組むとともに、市職員の給与カットや各種団体への補助金の削減など市の行財政改革に取り組んできました。

その結果、次の理由により、平成25年度をもって**財政危機宣言を解除**します。

## 《財政危機宣言を解除する理由》

- ① 新行財政改革プラン（H21～H25）が達成できたことにより、平成24年度決算において、基金を全く取り崩さずに黒字となったこと
- ② 旧市民病院の経営健全化計画（H21～H25）が100%達成できたこと
- ③ 国の動向も踏まえた5年間（H26～H30）の財政計画を策定した結果、原則として黒字基調の財政運営の見通しが立ったこと

平成25年10月21日

三木市長 藪本 吉秀

## <理由①> 新行財政改革プラン（H21～H25）が達成できたことにより、平成24年度決算については基金を全く取り崩さずに黒字を達成

新行財政改革プランを策定し、52億円の改善を目標として行革に取り組んだ結果、目標を少し上回る53億円の効果を生み出しました。

それらの結果により、平成24年度決算においては、バブル崩壊後初めて基金を全く取り崩すことなく黒字決算を達成することができました。

### 新行財政改革プランによる効果額

(単位:億円)

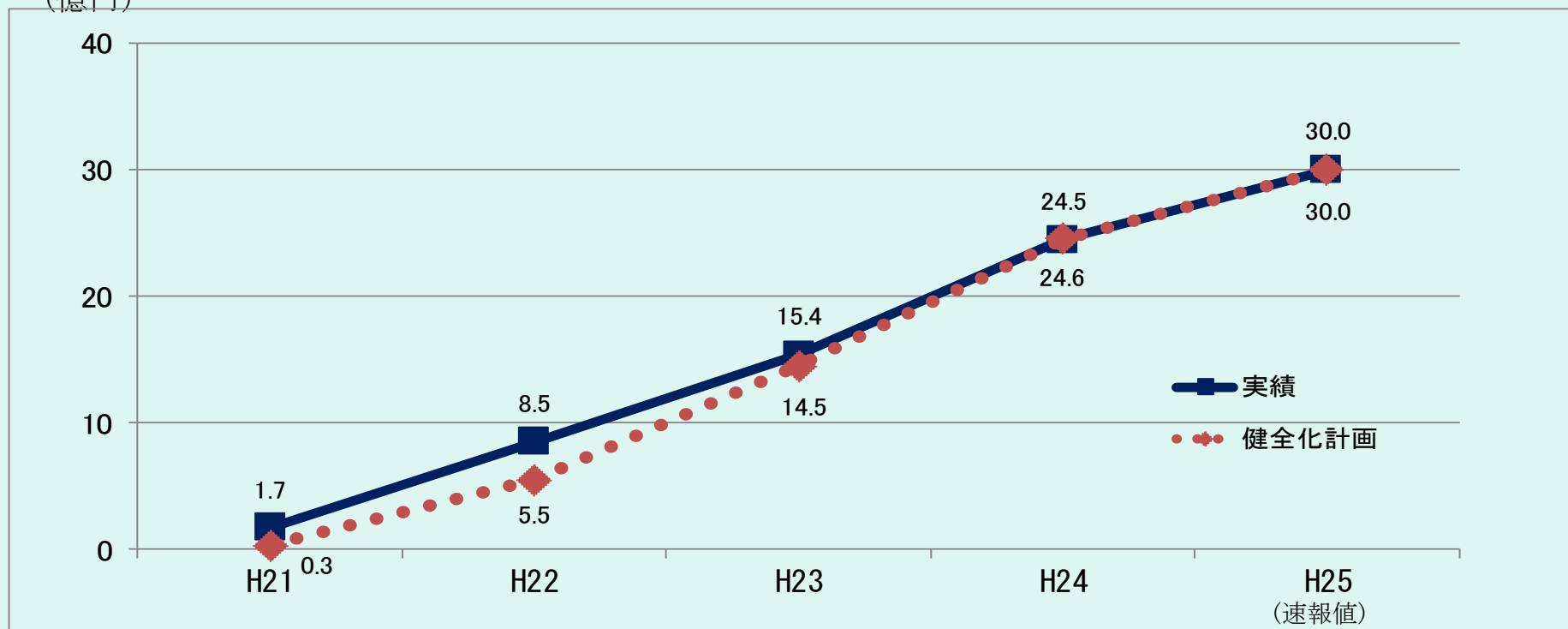
区分	取組項目	目標 A	効果額 B	差引 B-A
収入の 増加	土地開発基金の活用	11	11	0
	収入の確保(未利用地の売却、市税などの徴収強化)	2	1	▲1
支出の 削減	人件費の7%カット	15	14	▲1
	行政コストの見直し(施設管理運営経費、業務の縮減等)	11	12	1
	事業やサービスの見直し(イベントの中止、補助金の減額等)	8	8	0
	投資の見直し(建設事業の廃止や先送り)	5	7	2
小計		52	53	1

## <理由②> 旧市民病院の経営健全化計画（H21～H25）が100%達成

旧市民病院は、医師・看護師不足などにより巨額の赤字を出し、このままの状態が続けば経営が破たんしかねないという状況に陥っていました。そこで、経営を抜本的に見直すために、平成21年度に「経営健全化計画」を策定し、病院の職員が一丸となって健全化に取り組んできました。

その結果、5年連続で収支が改善し、経営健全化計画で定めた目標額である30億円の改善を100%達成できました（速報値）。

(億円) 旧市民病院の経営改善額（累計）の推移



## <理由③> 今後5年間（H26～H30）の財政計画を策定した結果、原則として黒字基調の財政運営となる見通し

財政危機宣言解除後は、

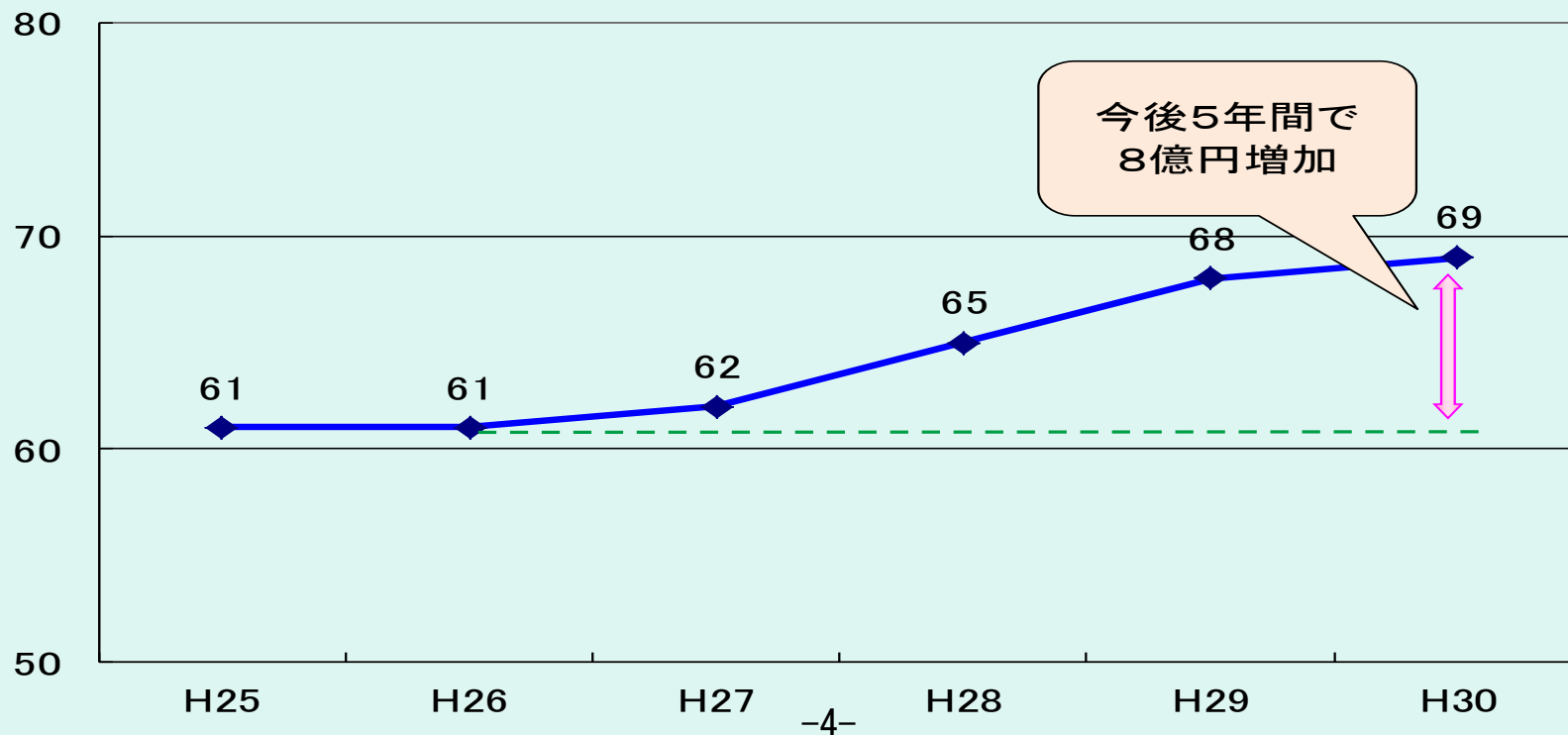
- 1 事業の選択と集中を図り、メリハリのある財政運営
- 2 カットしていた職員給与や補助金の復元
- 3 先送りしていた事業の計画的な実施

などを行うこととしました。

一方で、国の動向などを踏まえた今後5年間の財政計画を策定しました。

その結果、今後は赤字を補填するための基金を取り崩さなくても財政収支の黒字が確保でき、基金残高は増加に転じる見通しとなりました。

(億円) 今後の基金残高見込額の推移



## 【参考】今後5年間（H26～H30）の財政計画

### 三木市一般会計の中長期の財政計画（一般財源ベース）

（単位：億円）

科 目	年 度	H25 決算見込	H26	H27	H28	H29	H30
地方税		109	109	109	109	108	108
地方交付税		56	57	61	60	60	58
その他		36	39	37	37	37	37
歳入 計		201	205	207	206	205	203

義務的経費		99	98	97	94	94	93
人件費		45	44	43	41	41	40
扶助費		18	19	19	20	21	21
公債費		36	35	35	33	32	32
投資的経費		5	7	9	9	9	9
その他の経費		96	100	100	100	99	100
歳出 計		200	205	206	203	202	202

歳入歳出差引額		1	0	1	3	3	1
---------	--	---	---	---	---	---	---

項 目	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30
基金残高		61	61	62	65	68	69
市債残高(全会計)		601	596	593	592	588	582